

2018年2月の講座

福岡市内に在住の方、通勤・通学されている方なら、どなたでもご参加いただけます。

リフォーム講座【全7回】
 講師：眞嶋法子先生
 2/6(火)・20(火)・27(火)・
 3/6(火)・13(火)・20(火)・27(火)
 10:00～13:00 ※全7回参加できる方
 定員：10名(抽選) 参加費：500円
 ※申込締切：1/27必着(申込方法は下記参照)
 中面に講座紹介を掲載しています

**かんたんコンポスト
 (初心者向けセット付)**
 2/7(水) 10:30～12:00
 定員：10名(先着)
 参加費：無料
 ※申込：電話予約
 2/1～



包丁研ぎ講座
 2/9(金) 10:00～12:00
 定員：5名(抽選)
 参加費：無料
 持ってくるもの：包丁、砥石を持っている方は砥石
 ※申込締切：1/30必着(申込方法は下記参照)

傘の修理
 2/12(月)・18(日) 10:00～13:00
 定員：各6名(先着)
 参加費：無料(修理内容により実費必要)
 ※申込：電話予約
 2/1～



卓上機で裂き織り【全2回】
 2/15(木)・22(木) 10:00～13:00
 ※全2回参加できる方
 定員：10名(抽選) 参加費：無料
 持ってくるもの：古布
 ※申込締切：2/5必着(申込方法は下記参照)
 中面に講座紹介を掲載しています

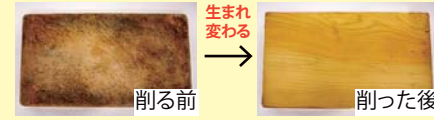
**ミシンの時間貸し
 (リメイクのための使用に限る)**
 2/16(金) 10:00～13:00
 定員：8名(先着)
 参加費：無料
 ※申込：電話予約
 2/1～
 ロックミシンは使用不可です



**エコクッキング『モッツアレラチーズ
 とじゃがいものピザ』他**
 講師：丸井節子先生
 2/18(日) 10:00～13:00
 定員：10名(抽選)
 参加費：無料
 持ってくるもの：エプロン、三角巾、マイはし
 ※申込締切：2/8必着(申込方法は下記参照)

菜園相談会(生ごみリサイクル)
 2/18(日) 13:30～15:00
 定員：10名(先着)
 参加費：無料
 ※申込：電話予約2/1～
 生ごみリサイクルでできた堆肥を使った畑は元気いっぱい。年間を通して畑の体験をしませんか？

木製のまな板削り
 2/22(木)・24(土) 10:00～16:00
 定員：各12名(先着)
 参加費：無料 ※申込：電話予約2/1～



**おもちゃの病院
 (子ども向けおもちゃ対象)**
 2/25(日) 10:00～14:00
 定員：10名(先着)
 参加費：無料(修理内容により実費必要)
 ※申込：電話予約2/1～
 壊れたおもちゃの例：電車が動かないなど

無料体験 随時受付10:00～15:30
紙すき『古紙ではがき作り』
 制作時間：約15分(受付15:00まで)
裂き織り『コースター作り』
 制作時間：約30分(受付15:00まで)
廃材工作コーナー
 制作時間：自由

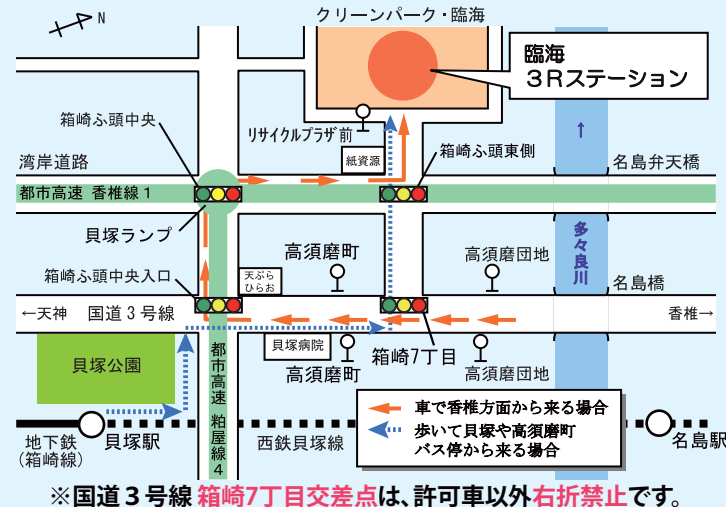
リユース品の持ち込みについて
 受付時間 10:00～15:00
 受付場所 衣類・雑貨・本 → 3階
 家具 → 1階
 持ち込み対象者 福岡市内在住の方
 持ち込みの詳細についてはホームページに掲載の『持ち込み規定』でご確認ください。

申込方法 往復はがき ①希望講座名と開催日 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号を明記の上、お申込みください。※往復はがき1枚に1講座
 FAX ①希望講座名と開催日 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥FAX番号を明記の上、お申込みください。
 ホームページ 臨海3Rステーショントップページ上段のメニュー『講座案内』の希望される講座のページからお申込みください。

福岡市臨海3Rステーション



《開館時間》10:00～17:00
 《休館日》月曜日(祝日の場合は開館し、次の平日休館)
 年末年始(12月28日～1月3日)
 〒812-0051
 福岡市東区箱崎ふ頭4丁目13番42号
 TEL 092-642-4641 FAX 092-642-4598
 E-mail info@econet-fukuoka.com
 URL http://www.econet-fukuoka.com/
 編集・発行 特定非営利活動法人エコネットふくおか
 この印刷物は再生紙を使用しています。



《交通機関》
 ●地下鉄「貝塚」より徒歩約20分
 ●西鉄バス「リサイクルプラザ前」より徒歩約1分
 ●西鉄バス「高須磨町」より徒歩約10分
 ※駐車場スペースは限りがあります。
 ※公共交通機関をご利用ください。

エコライフ臨海



いろいろな雑貨、置いています

リユース品の中で、取り扱っている品目が一番多いのが雑貨です。食器、靴、バッグ、帽子、文房具や子どもさんのおもちゃやぬいぐるみなどさまざまなものがあります。
 裁縫をしようと思っていたけどやめた、家族が購入していて使わなくなったなどの理由から持ち込まれるはぎれや毛糸などの手芸用品は、ものづくりをしようと思う他の方の手によって、新たな作品へと生まれ変わります。自分は使わないけど誰かに使って欲しい、ごみとして捨てたくない。リユース品コーナーを見渡すと持ち込みされた方のいろいろな思いが伝わってきます。また、一度にたくさん持ち込まれる食器などを見ると、大量生産・大量消費という社会経済が垣間見えます。
 必要なものを必要な分だけ使う、購入する前にリユース品の利用を考える、不用になったらリユース品として別の方に使ってもらう。そんなエコな生活を実践したいですね。

3Rとは? → Reduce(リデュース)発生抑制 Reuse(リユース)再利用 Recycle(リサイクル)再生利用
 包んでもらわなくてよいものは、包装を断りましょう